

天文月報 第二十二卷 總目次

論 說

緯度變化に就て(一)	理學博士 木村 榮	一號	三頁
太陽の寫眞的研究(一)	理學士 野村 誠夫	一	六
線スペクトルの分析(一)	フアウラー教授	一	一〇
緯度變化に就て(二)	理學博士 木村 榮	二	二二
太陽の寫眞的研究(二)	理學士 野村 誠夫	二	二九
線スペクトルの分析(二)	フアウラー教授	二	三三
太陽の寫眞的研究(三)	理學士 野村 誠夫	三	四三
新星に就て(一)	理學士 窪川 一雄	三	四五
新星に就て(二)	理學士 窪川 一雄	四	六三
星の物理的狀態(一)	理學士 木下 國助	五	八三
恒星への距離	ジーンズ 教授	五	八六

星の物理的狀態(二)

新星に就て(三)	理學士 窪川 一雄	六	一〇三
種々の渦巻に就て	理學博士 藤原 咲平	七	一二三
星の物理的狀態(完)	理學士 木下 國助	七	一二六
分光器的新星に就て	理學士 中野 三郎	七	一二七
星と星との間の空間に散らばつた物質(一)	エツタンゲン教授	七	一三二
日時計の作り方	水野 良平	八	一四三
星と星との間の空間に散らばつた物質(二)	エツタンゲン教授	八	一四七
星の有効波長	理學士 速沼 左千男	九	一六三
恒星天文学	シヤプラー教授	十	一八三
惑星だよりの爲に	水野 良平	十	一八七
太陽雰囲気に於ける力の場	ヘール教授	十一	一九〇
地球自轉速度の問題(その一)	理學士 石井 重雄	十一	二〇三

太陽雰囲気に於ける力の場(二)

經度の話

地球自轉速度の問題(その二)	理學士 石井 重雄	十二	二二三
----------------	-----------	----	-----

雜 錄

惑星狀星雲	メンツェル	一	一二
ウインネツケ週期彗星(第一報)	理學士 神 田 茂	三	五〇
ウイルソン山天文臺の近狀		四	六八
一九二六年に於ける太陽黒點	理學士 野 附 誠夫	四	七一
ウインネツケ週期彗星(第二報)	理學士 神 田 茂	五	八八
六月に於ける日食及び月食		五	九一
昭和二年五月六日の噴出紅焰		六	一一二
山間觀測行	理學士 辻 光之助	九	一七〇
十一月十日の水星日面經過について		十一	一九三
十二月八日・九日における月食について		十一	二一四

日本天文學會第三十九回
定會記事

觀測欄

- 變光星の觀測
- 東京天文臺(三鷹)寫眞觀測による太陽
黑點概況(一九二六年十一月・十二月)
- 變光星の觀測
- 變光星の觀測
- 龍座流星群の觀測
- 流星の觀測
- 變光星の觀測
- 一戸博士の對日照の觀測
- 東京天文臺(三鷹)寫眞觀測による太陽
黑點概況(一九二七年一月・二月)
- 一九二六年變光星の極大、極小の觀測
- 變光星の觀測
- 龍座流星群の觀測
- 變光星の觀測
- 變光星の觀測
- 太陽紅焔の觀測
- ウインネツケ彗星の寫眞
- ウインネツケ彗星の觀測
- 日食の觀測
- 太陽紅焔の寫眞
- 變光星の觀測
- 變光星の觀測
- 東京天文臺(三鷹)寫眞觀測による太陽
黑點概況(一九二七年三月・四月)

九	一二	一七五	二三三
八	一三	一七四	二二二
七	一四	一七三	二二一
六	一五	一七二	二二〇
五	一六	一七一	二一九
四	一七	一七〇	二一八
三	一八	一六九	二一七
二	一九	一六八	二一六
一	二〇	一六七	二一五

雜報

金星の最大光度	九	一七六	太陽黑點の新理論	二	三八
變光星の觀測	十	一九四	木星の衛星の光度の變化	二	三八
東京天文臺(三鷹)寫眞觀測による太陽 黑點概況(一九二七年五月・六月)	十一	一九五	小惑星の軌道表	二	三八
變光星の觀測	十一	二一五	プロキシマ・ケンタウリ星の距離	二	三八
東京天文臺(三鷹)寫眞觀測による太陽 黑點概況(一九二七年七月・八月)	十一	二一六	二つの新しい短週期食變光星	二	三八
太陽紅焔の寫眞	十一	二一七	天文學者の訃	二	三八
東京天文臺(三鷹)寫眞觀測による太陽 黑點概況(一九二七年九月・十月)	十二	二三三	小惑星	二	三九
一九二七年變光星の觀測	十二	二三四	無線報時修正値	二	三九
本年回歸すべき週期彗星	一	一五	パイル・ヘリオメーターによる太陽恒数の變化	三	五四
ホルムス彗星	一	一六	地球の自轉速度	三	五五
彗星の觀測	一	一六	星の掩蔽觀測を惹起	三	五六
コマス・ソラ彗星	一	一七	本年の惑星による恒星の掩蔽	三	五六
近刊の星表	一	一七	一九五二年迄の曾既日食	三	五六
風に就ての經度の修正	一	一七	新彗星ライド(一九二七年b)	三	五七
高緯度に現はれたる噴出性大紅焔	一	一八	新彗星ステアンス	三	五七
双子座γ星のスペクトルの變化	一	一八	ブラスウエイト彗星(一九二七年e)	三	五七
射手座w星の上下層に於ける視線 速度の相違	一	一八	コマス・ソラ彗星	三	五七
變光星表	一	一八	新流星雨	三	五八
新彗星グラスウエイト	一	一八	特殊スペクトルを有する星	三	五八
本年のユリウス日	一	一九	三角視差測定の試驗星	三	五八
小惑星記念の命名	一	一九	北海道帯広地方に於ける大流星	三	五九
カリレオ記念太陽塔	一	一九	無線報時修正値	三	五九
無線報時修正値	一	一九	天文學談話會記事	三	五九
			ウインネツケ彗星發見さる	四	七四
			ステレラツプ彗星發見さる	四	七五
			彗星ステアンスの軌道要素	四	七五
			小惑星 1927 AA	四	七五
			絕對等級のスペクトル的決定の方法	四	七五

B型星の視線速度K項に就て	四	七五	ラドリツフ天文家の程度	六	一一八
B型ヘリウム星三六八個の視線速度	四	七五	ウインホツケ彗星近づく	六	一一八
報時球及び報時燈	四	七六	天文學談話會記事	六	一一八
天文學談話會記事	四	七六	無線報時修正値	六	一一九
日本天文學會第三十八回定會記事	四	七七	熾差・銀河面の廻轉	七	一一八
大正十五年度事務會計報告	四	七八	ブラークに於ける學術研究會議	七	一一六
本會役員異動	四	七九	無線報時修正値	七	一一九
無線報時修正値	四	七九	光速度の決定	八	一一七
極光に伴ふ音響	五	九六	太陽大氣に於ける光の屈折	八	一一七
A型星の絕對光度と視差	五	九六	惑星距離の新法則	八	一一八
白鳥星座における星の固有運動	五	九六	眾ましき決議	八	一一八
春分點の修正	五	九七	新小惑星の軌道要素	八	一一八
カスターに離れた伴星	五	九七	無線報時修正値	八	一一九
ホレリー氏の訃	五	九七	英國に於ける日食觀測	九	一一七
ケフェウス型變光星の寫眞撮影	五	九七	火星の自轉軸の位置	九	一一七
のプログラム	五	九七	無線電波の速さ	九	一一七
スクエレラツプ週期彗星	五	九八	太陽系に近い一小星	九	一一七
東京天文臺プレテンの發刊	五	九八	大熊座W型變光星のスペクトル線	九	一一七
三越呉服店における天文展覽會	五	九八	海王星の衛星	九	一一八
會員消息	五	九八	大と小	九	一一八
無線報時修正値	五	九九	天文學談話會記事	九	一一八
星の分布に於ける規則だつた形状	六	一一四	無線報時修正値	九	一一九
プレセープ星團の距離と固有運動	六	一一五	歐洲通信	九	一一九
流星 M ₁₉₃ の軌道	六	一一五	新著紹介	十	一一七
木星の四大衛星	六	一一六	月の經度と地震帶の移動	十	一一八
緯度變化と月の運動の不整	六	一一六	太陽の銀河面からの距離	十	一一八
火星と新聞	六	一一六	星と星とのつながり	十	一一九
教科書に現はれた相對性原理に就て	六	一一六	質量最大之星か	十	一一九
新「天文と宗教」	六	一一七	無線報時修正値	十	一一九

ラドリツフ天文家の程度	六	一一八	ゲール彗星	十一	一二七
ウインホツケ彗星近づく	六	一一八	星の變光についての新綜合說	十一	一二七
天文學談話會記事	六	一一八	光速度測定値の變動	十一	一二八
無線報時修正値	六	一一九	天文諸恒數	十一	一二八
熾差・銀河面の廻轉	七	一一八	日中の空の明るさ	十一	一二八
ブラークに於ける學術研究會議	七	一一六	天文學談話會	十一	一二九
無線報時修正値	七	一一九	學界ニュース	十一	一二九
光速度の決定	八	一一七	無線報時修正値	十一	一二九
太陽大氣に於ける光の屈折	八	一一七	新著紹介	十二	一二五
惑星距離の新法則	八	一一八	天文學と最近の物理學	十二	一二五
眾ましき決議	八	一一八	地球電氣の場	十二	一二六
新小惑星の軌道要素	八	一一八	シュワツサーマン彗星	十二	一二六
無線報時修正値	八	一一九	シローマス彗星	十二	一二七
英國に於ける日食觀測	九	一一七	四等星の新變光星旗魚座β星	十二	一二七
火星の自轉軸の位置	九	一一七	小惑星の最近消息	十二	一二七
無線電波の速さ	九	一一七	東京天文臺に於ける新八時赤道儀	十二	一二七
太陽系に近い一小星	九	一一七	第四回汎太平洋學術會議	十二	一二八
大熊座W型變光星のスペクトル線	九	一一七	新設の無線報時	十二	一二八
海王星の衛星	九	一一八	トルコ曆の改正	十二	一二八
大と小	九	一一八	三鷹だより	十二	一二八
天文學談話會記事	九	一一八	金星による恒星の掩蔽	十二	一二八
無線報時修正値	九	一一九	編輯者より	十二	一二八
歐洲通信	九	一一九	長週期變光星一九二八年の極大	十二	一二九
新著紹介	十	一一七	昭和三年各種の曆の對照表	十二	一二九
月の經度と地震帶の移動	十	一一八		十二	一二〇
太陽の銀河面からの距離	十	一一八			
星と星とのつながり	十	一一九			
質量最大之星か	十	一一九			
無線報時修正値	十	一一九			

天	號	頁	號	頁	號	頁
象	一	一	二	二	三	四
豫	六	一	五	八	六	一〇
告						

天文月報 (第二十卷總目次)

惑星だより

七二二	八一	九一六一
一一八一	一二〇一	一二三二

星座、太陽、主なる氣節、月、變光星、流星群、星の掩蔽

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
二〇	八〇	一四〇	二〇〇	二六〇	三二〇	三八〇	四四〇	五〇〇	五六〇	六一〇	六七〇
二	五	一〇	一五	二〇	二五	三〇	三五	四〇	四五	五〇	五五
四〇	一〇〇	一六〇	二二〇	二八〇	三四〇	四〇〇	四六〇	五二〇	五八〇	六四〇	七〇〇
二	五	一〇	一五	二〇	二五	三〇	三五	四〇	四五	五〇	五五
四〇	一〇〇	一六〇	二二〇	二八〇	三四〇	四〇〇	四六〇	五二〇	五八〇	六四〇	七〇〇